東名古屋病院だより

平成23年７月発行　第47号

理　念

私たちは、医の倫理を守り、患者さんの気持ちを尊重し、
より質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんへの医療内容の説明と患者さんの同意を医療の基本とします。
2. 地域に密着し、心の触れ合いを大切にした医療を提供します。
3. 常に自己研鑽に励み、医療人としての専門的知識・技術の習得に努め、皆様に信頼される安全で最新の医療を提供します。
4. 健全な経営を維持して療養環境の整備に努め、安心して快適に療養できる病院を目指します。

目　次

2Ｐ：巻頭言「東名古屋病院に赴任して」
3Ｐ：病気とのつきあい方
4Ｐ：附属リハビリテーション学院です
5Ｐ：東２階病棟のご紹介
6Ｐ：脱水症を予防しよう！
7Ｐ：教育担当室からこんにちは
　　新任医師紹介
8Ｐ：東名セミナー開催のお知らせ
9Ｐ：リハビリテーション学院公開講座のお知らせ
10Ｐ：外来案内、外来診察担当医表

独立行政法人 国立病院機構
東名古屋病院
NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION
HIGASHI NAGOYA NATIONAL HOSPITAL

〒465−8620
名古屋市名東区梅森坂5-101
TEL　052-801-1151
FAX　052-801-1160
ホームページアドレス
http://www.hosp.go.jp/~tomei/

巻　頭　言

東名古屋病院に赴任して

看護部長　藤岡　敦子

東北地方太平洋沖地震が３月11日に発生し、被災された方々には謹んでお見舞いを申し上げます。当院は３月14日に災害医療班を被災地の岩手県に第一班を送り被災した方々の医療支援を行いました。

今回の大震災では私たち日本人一人ひとりが何を学び、今後の生活にどれだけ生かせることができるか考えさせられました。

世界の人々は想定外の自然災害を受け、その実情を見た時、被災された方々自身が災害を受けながらも立ち向かう前向きな日本人の行動が賞賛されています。

命があるだけでも、生きていただけでもと他人を気遣い人々のために何かをしてあげなくてはという奉仕的な心髄があります。国民性の違いと文化の違いと思いますが、マスコミからの報道では災害を受けながらも日本は略奪もなく社会秩序が保たれていると、特に中国では２つのことを学んだと伝えられています。

まず混乱の中にあっても決して取り乱すことのない日本人の秩序正しさです。

次に日本のマスコミ界や社会各界による被災者救済に対する前向きな態度もすばらしいということです。

社会がまだ混乱しているさなか、４月に石川病院から東名古屋病院に異動してまいりました。愛知県には７年ぶりとなります。当院は名古屋市東部に位置し、人口増加著しい日進市にも隣接し緑豊かな自然環境を維持しています。経営改善計画（再生プラン）対象施設として感染症、神経難病などの専門医療のほか、脳卒中後遺症などの回復期リハビリテーション医療に力を注いでいます。また名古屋医療センター、東尾張病院と連携しながら診療を充実してきています。

その結果、昨年からは職員の意識改革のもと診療機能の強化・地域医療連携の強化を図ることができました。また看護師確保を継続的に行った結果、入院基本料施設基準上位取得などにより経営改善が図られることができました。

今年度は昨年度からの意識改革のモチベーションを維持しつつ、来年度の電子カルテ導入、総合リハビリテーションセンターの建て替えにむけ職員一丸となって目標達成に繋げていきたいと思います。

そして近い将来の全面建て替えに向け、地域に開かれた一般医療の充実を図る為に様々な職種と協働しチーム医療を図りたいと考えます。そのためには、それぞれの認定看護師を中心に専門性を活かした看護活動を実践し、看護の質の向上に取り組んでいくこととしています。

一方、働く看護職員に多様な働き方を支えるワークライフバランスの推進に取り組むために、２交替制勤務の導入も検討しています。看護職員は個人生活と仕事の調和を図りながら昼夜なく患者さんをケアし見守っていくことが大事です。

こうした働く人に優しい環境作りへの取り組みの実践、また、地域及び此処の患者さんのニーズに応えられるような人材育成に努めたいと考えております。

今後とも、よろしくお願いいたします。

病気とのつきあい方

軽度発達障害 ―育てにくいこどもたち―

小児科医長　濱口　典子

なかなか親の言うことを聞かない、落ち着きがない、病院では静かにしなくちゃいけないのに平気で騒ぐ、など「しつけが出来ていない」と思われがちなこどもたちの中に、生まれつき脳の機能に特徴を持っている場合があります。「軽度発達障害」とも呼ばれます。

多くの子は、運動面も、コミュニケーション能力も、社会のルールを学ぶ力も、足並みそろえて発達していきますが、育てにくい子たちは、発達にばらつきがあるために、いろいろと不得意な面を持っています。

この子たちはとても手がかかるので、親の悩みが尽きませんが、ちょっとしたコツで子育てが楽になります。

たとえばどんな子たちなの？

1．言葉が遅い

言葉はコミュニケーションの大切な道具です。コミュニケーションを苦手とするこどもたちは、言葉が遅れることが多いです。

2．不器用な子

歩き始めが少し遅かったり、不器用で鉄棒やなわとびなど、道具を使った運動が苦手だったりします。持久走も嫌いです。

3．落ち着きのない子

歩き始めたと思ったらすぐに走り回っていた、というように、とても活発な子もいます。一つの遊びに集中できなかったり、急に危ないことをしてケガをしたり、買い物に連れていくとすぐに迷子になったりします。

4．１歳半健診・３歳健診の様子

初めてのところでは力が発揮できない子が多いので、健診の場ではいつもは出来ていたことも、全然出来なくなります。走り回って保健師さんの指示が耳に入らない子も多いです。

5．幼稚園・保育園での様子

みんなと同じに出来ない子が多いので、運動会や発表会に上手く参加できず、目立ってしまうことが多いです。

6．睡眠・食事

睡眠のリズムが整わない子がいます。寝つきが悪かったり、お昼寝を全然しなかったり、夜泣きが多かったり、などです。

偏食がひどいことも多く、給食で苦労します。

7．小学校での様子

落ち着きなく授業中立ち歩いたり、教室を勝手に出て行ったりします。

学校のルールがなかなか身に付かず、勝手に発言したり、友達とのトラブルがしょっちゅう起こります。

学習が上手くいかず、がんばっても成績がなかなか上がらない子もいます。

どうしたらいいの？

1．同じ年の子たちとくらべない。

その子なりのペースで成長していきます。20歳になるまでにみんなに追い付けばいいので、あせってお尻を叩かないようにしましょう。

2．叱る場面は避ける。

レストランで大騒ぎしてしまうなら、ハンバーガーのテイクアウトにしましょう。叱りながら食べるより、おうちで楽しく食べたほうがずっとおいしいはずです。

映画館で周りに迷惑をかけるより、ビデオを借りてみた方が気楽ですよね。

3．みんなで育てる。

こどもは社会のたからものです。育てにくい子を家族で抱え込まないで、誰かに相談しましょう。保健師さん、保育士さん、学校の先生、かかりつけの小児科の先生などです。

小学校の宿題がなかなかできなくて、毎日親子ゲンカ、なんて時は、正直に担任の先生に話すと、案外手助けしてくれるものです。

4．ほめて育てる。

叱って育てるより、ほめて育てる方が楽なのは当然です。「そうは言ってもなかなかほめるチャンスがないわ。」って言われるかもしれませんが、思いっきりハードルを下げてしまえば、ほめるのはそんなに難しくありません。

１日いい子にしているのは無理でも、ほんの１、２時間だけならがんばれるでしょう。

お菓子や漫画の力を借りてでも、静かに待てたらほめてあげましょう。

5．ごほうびをあげる。

こどもががんばったら、ぜひごほうびをあげて下さい。ぎゅっと抱っこしてあげてもいいし、キス100回でもいいでしょう。小さな子ならシール、大きな子ならゲーム時間の延長はよいごほうびになります。

6．子育てに笑いを。

小さな成功でもたくさん喜ぶ、ちょっとした失敗は笑い飛ばす、など明るい気持ちを持つように心がけましょう。その笑顔はお子さんの心も明るくするはずです。

附属リハビリテーション学院です

教育主事　中村　伴子・近藤　登

平成23年４月から作業療法学科教員１名が赴任して参り、新たな教職員体制で今年度がスタートすることとなりました。

新入生も難関の入学試験を突破し理学療法、作業療法併せて40名を迎えました。本年度の新入生は昨年度同様に全国の各ブロックからも入学しております。

東日本大震災に遭遇された宮城からの学生さん２名も迎え授業で機構病院からも被災地に医療班が支援に行ったことを紹介しますと、そのような仕事も機構病院の役割の一つであると知り発奮して授業を受けておりました。一年生も学生同士切磋琢磨し学習意欲に燃えているようです。（写真１）２年生はそれぞれの専門分野の科目を本格的に学び始めて勉強意欲に燃え（写真２）、３年生は８月より６週間の臨床実習に向けて学内での総仕上げを行っているところです（写真３）。

（写真1:1年生グループ活動の様子）

（写真2:2年生授業の様子）

（写真3:3年生学習の様子）

東海地区では入学生を獲得しがたい状況下でありながらも本学院は定員一杯の学生さんにより賑わっておりますのは皆様方のご協力の賜と感謝しております。

本学院はリハビリテーションに従事する理学療法士及び作業療法士を養成する３年制の学校であります。昭和38年５月から昭和57年までに国立病院・療養所附属のリハ学院は９校が設置されましたが、平成15年12月に国立病院・療養所附属養成施設の再編成により当学院を除いて閉校が決定され、現在では、当学院が国立病院機構内に唯一存続する養成施設となっております。

第二期中期計画において養成所に課せられていることとして①国立病院機構が担う医療に対する使命感を持った質の高い療法士の育成②カリキュラムの第三者評価を実施して教育の質の充実を図る③国立病院機構への就職率を高める④当該年度の全国平均国家試験合格率を超える合格率を目指すこと等が上げられています。本学院の現状を紹介しますと、①については日頃より授業内容に反映すべく努力しているところです。②については平成21年度に第三者評価を実施し、その結果を基に年度ごとに課題を設定して取り組みを行っております。③機構病院への就職率については約半数となり、両学科共前年度を上回りました。④国家試験の合格率では全国平均は７割でしたが本学院は93.8％でした。

また、機構病院における理学療法士・作業療法士の卒後教育の一端を本部医療部主催専門研修として担うことも役割となっております。本年度は３年目を迎え８月３日（水）～８月５日（金）に当リハビリテーション学院にて機構病院における理学療法士・作業療法士30名（臨床経験概ね３年程度）を対象に「長期入院患者のＡＤＬ向上に関する研修」が開催される予定です。この研修の目的は国立病院機構で担うべき政策医療分野における疾患であります重症心身障害児・者、神経難病、筋ジストロフィーに対する理学療法・作業療法の指導者育成を行うことにより医療の質の向上を図ることと重症心身障害児・者、神経難病、筋ジストロフィーに対する理学療法・作業療法の均てん化及びＥＢＭ、プログラムの標準化に向け情報発信して行くことでございます。

現在、次年度の準備として学院説明会を予定しており第１回が６／25（土）、第２回が７／29（金）であり、第３回は学院祭と同時開催でありまして10／15（土）を予定しておりますので多数の参加をお待ちしております。

このように本学院では機構のリハビリテーション学院として機構職員の養成に努めて参ると共に教育の質の向上に励んで参りたいと思いますので今後ともどうぞご協力をお願い致したいと存じます。

東2階病棟（回復期リハビリテーション病棟）のご紹介

東２階病棟看護師長　豊田　幸子

【スタッフ紹介】

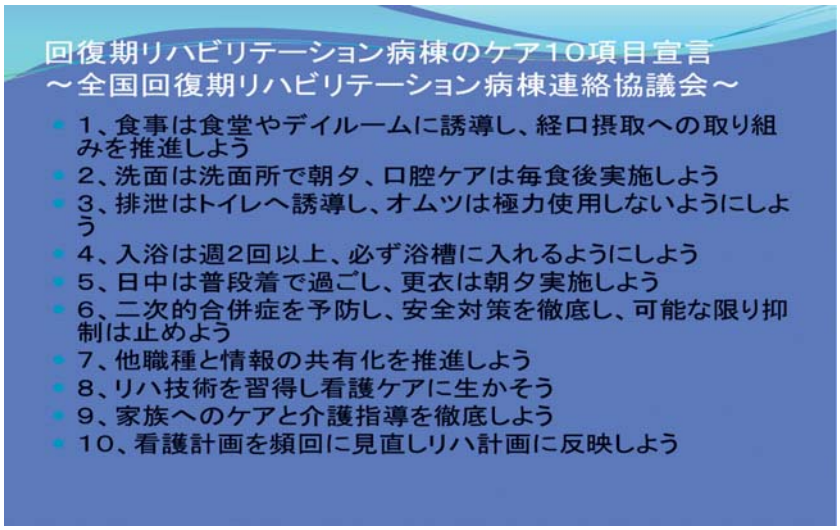
看護師18名に４月から療養介助員４名が加わりました。

【回復期リハビリテーション病棟】

今年７月で開棟３年目を迎えました。現在は主に脳卒中後のリハビリ目的で37名の患者さんを受け入れています。回復期リハビリテーションの先進病院である、初台リハビリテーション病院が宣言したケアの10項目というものがあり、当病棟でもそれを基本としたケアの提供を行っています。

病棟生活を、自宅での生活に近いものにするため、昼夜のリズムをしっかりつけ、退院後の生活を想定した援助を行い、病棟での生活に積極的にリハビリを取り入れるようにしています。日中はジャージ、夜はパジャマで過ごしていただくため、朝と夕方に看護師やセラピストによる更衣訓練を行っています。患者様の日常生活動作を最大限に発揮できるよう、時間がかかってもできるだけご自分で行っていただき、見守るようにしています。歩行訓練も同様に看護師と行っていますが、日中車いすを使用しないで、トイレ誘導の際は病室から歩いていくなど、日常生活に歩行を取り入れることで、歩行の機会を増やす工夫もしています。自宅退院後階段を使用する患者さんには歩行訓練や階段訓練は、セラピストから家族へも指導され、家族にも訓練に参加していただくようにしています。

また、カンファレンスの充実を図ることで、多職種との情報共有に加え、目標（ゴール）設定を行い、医師・看護師・セラピスト・ケースワーカー等が中心となったチームアプローチに力を入れています。



脱水症を予防しよう!

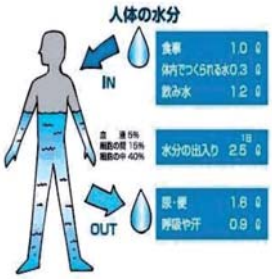
主任栄養士　西沢　貴志

今回は、脱水症の予防についてふれたいと思います。

私たちの体の水分量は体重の60～70%を占めています。私たちは１日に尿として約1500ml、便として約100ml、汗や呼吸などからも水分として体の外に出しています。一方、体に入る水分としては、食事（ご飯やおかずなどの固形物）からは約1000ml、飲料からは約1200ml、代謝水として約300mlがあり、これらで水分の出納ができています。

＜水分の出納＞

体に入る水分		体からでる水分	
食　事	1000ml	尿	1500ml
飲水量	1200ml	便	100ml
代謝水	300ml	不感蒸泄（汗や呼吸）	900ml
合　計	約2500ml	合　計	約2500ml



脱水とは体の水分と電解質が減少する状態をいいます。日ごろ、「トイレが近いから」とか「夜中に何度も起きるから」などと言って、水分を控えていませんか？

水は命の源です。体の水分が乏しくなってくると、体を動かすエネルギーを作る事ができなくなったり、体の中の老廃物を外に排泄する事ができなくなります。また、脱水症は脳梗塞や肺炎を引き起こす原因にもなるのです。

特に高齢者では、加齢や服薬の影響などで唾液の分泌が低下することがあります。また口の中が乾燥しているにもかかわらず、中枢神経の鈍化により口渇感を感じにくく、意識して水分摂取をしていかないと脱水になりやすくなっています。

他にも嚥下機能の低下によりお茶や汁物を拒否したり、トイレの回数を気にするあまり水分摂取を拒んだりすることがあります。また利尿剤や下剤を常用している方は、さらに体から水分が出やすくなっており、注意が必要です。

＜早期発見のポイント！＞

①体重が減ってきた。
②尿の回数や１回の尿量が減ってきた。尿の色が濃い。
③食事の摂取量がいつもの半分以下になってきた。（食事からの水分量も大切！）
④なんとなくボーっとして活動性が低下してきた。
⑤口の中がネバネバして口渇感がある。唇や舌が乾燥している。特に舌はガサガサな状態。
⑥皮膚がパサパサに乾燥し、弾力もない。（腋の下の湿り気が無くなっている）
⑦最近、下痢や嘔吐・発熱があった。…など。

＜水分補給のポイント！＞

①脱水時は、水だけでなくナトリウムやカリウムなどの電解質も失われています。単にお茶や水を補給するだけでなく、イオン飲料（最近は経口補水液といわれるものも出ています）等により失われた電解質も一緒に補う事も必要です。
市販のイオン飲料は糖質を多く含み、電解質は少ない傾向にあります。
ポカリスエットに一つまみの塩を足して飲むのも良いでしょう。

②食欲の低下しているときは、果物やゼリー、プリンなどもよい水分補給になります。夏場のスイカに塩などはスイカの甘味アップと同時に、カリウムとナトリウムも補給できます。
③甘いものが苦手な人は、食事の時に毎回汁物をつけてもいいでしょう。
④一度に沢山の水分をとるのは大変ですから、１回あたり200ml（コップ１杯）位をこまめにとると良いでしょう。
⑤冷水はかえって下痢の原因になってしまいます。水の温度は５～15℃が腸で吸収しやすいと言われています。
⑥運動中など、活動時には１～２時間おきに水分を補いましょう。

⑦寝る前や起床時、入浴の前後にも水分をとりましょう。
⑧きちんと食事をとりましょう（これが一番大切！）

ただし、腎臓や心臓を患っていたり、医師から水分や塩分の制限を言われている方、嚥下障害のある場合などは病状にあった適切な水分補給をしなければなりませんので、かかりつけ医に相談するようにして下さい。

教育担当室からこんにちは

教育担当師長　唐島田夕子

平成22年４月に教育担当師長として、当院に着任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

１．教育担当師長とは、何をする人？

病院で患者さんに教育担当師長と伝えると、よく聞かれます。学校教育と違い、教えるというより、看護職員等の研修・学習会という場の企画・運営を総括・推進するのが教育担当師長の役割の一つです。

２．教育担当師長が配置された背景

平成21年７月に保健師・助産師看護師法等の法律が改正されました。主な改正内容は、①平成22年４月から、全ての施設が新人看護職員研修を実施すること。②その他の看護職員においても、免許取得後も臨床研修等を受け、資質向上を図るように努めること、等です。法改正に合わせて、「新人看護職員研修ガイドライン」が示され、教育体制の整備について教育担当師長が専任の配置であることがのぞましいとされました。このような背景から、国立病院機構では、教育担当師長が、ほぼ施設に１名配置されています。

３．研修会のご紹介

１）潜在看護師の研修会

看護の職場を長く離れている方に対して

現在の医療・看護の知識・技術の研修会を毎年行っています。新聞のチラシ・ポスター・ＨＰ等でご案内しています。

今後も、院内・外に開かれた教育担当室をめざしております。研修会のご質問・ご希望がございましたら、当院教育担当師長へ、お気軽にお知らせください。

新任者紹介

血液・腫瘍内科医師

朴　智栄

2011年４月より血液・腫瘍内科医師として赴任いたしました。今や日本人男性の２人に１人、女性の３人に１人は生涯のうちにがんに罹るようになりました。さまざまな臓器のがんの診断と治療を中心に、患者さんに負担をなるべくかけないこと、患者さんとご家族と治療スタッフが情報を共有し治療方針を決定すること、最適な医療を提供することを目標に日常診療を行います。よろしくお願いいたします。

第7回

東名セミナー 足の健康

参加無料

定員300人
定員になり次第締め切らせていただきます

■プログラム

13:30　開　会

13:40～　講　演①

足にやさしい靴えらび
～靴で変わるあなたの健康～

東名ブレース株式会社
オルソペディックサービス事業部/義肢装具士　**宇野　秋人**

14:30～　講　演②

いつまでも歩けるために
～知っておきたいひざ・足の痛み～

国立病院機構 東名古屋病院
副院長(整形外科)・地域医療連携室長　**衛藤　義人**

15:30(予定)閉　会

■開催日時

平成23年10月15日(土)
13:30開演(13:00開場)

■開催場所

東名古屋病院体育館
名古屋市名東区梅森坂5-101

特設ブース(13:00～15:30)
足の計測・靴の相談コーナー

お申し込み方法

①氏名②郵便番号③住所④電話番号(複数の場合は代表者の①～④と参加合計人数)をご記入いただき、郵便はがき、FAX、E-mailにてお申し込みください。後日、参加受付はがきを郵送いたします。

●郵便はがき

①氏名
東名 太郎
〈参加人数 00人〉
②郵便番号
〒012-3456
③住所
○○市○○町1-2
④電話番号
012-345-6789

〒465-8620
名古屋市名東区梅森坂五丁目一〇一
東名古屋病院 管理課
東名セミナー事務局 行

●FAX
052-801-1160
※おかけ間違いの無いようご注意ください。

●E-mail
shomuhan@toumei.hosp.go.jp

※電話での申込みは受け付けておりませんので、ご了承ください。

■お問い合わせ　↓はがきの宛名として切り抜いてお使いください。

(きりとり)

〒465-8620 名古屋市名東区梅森坂5-101
独立行政法人 国立病院機構
東名古屋病院
☎052-801-1151(東名古屋病院 管理課)

(きりとり)

同時開催

東名古屋病院附属リハビリテーション学院 学院祭

10月14日(金) 10:00～16:00
10月15日(土) 9:30～14:30
各種模擬店、催し物等盛りだくさん!!

■主催／東名古屋病院
■後援／愛知県、名古屋市、愛知県医師会、名古屋市医師会、愛知県薬剤師会、中日新聞社
(順不同)

公開講座のお知らせ

独立行政法人 国立病院機構
東名古屋病院附属リハビリテーション学院

第8回　公開講座

「呼吸の仕組みと呼吸筋ストレッチ体操の紹介」

私達は普段何気なく呼吸をしていますが、呼吸は生命活動をする上で最も重要な働きをしています。今回は様々な視点から呼吸の仕組みをわかりやすく解説し、スムーズで効率の良い呼吸をするためのストレッチ体操を紹介します。

講　師　東名古屋病院附属リハビリテーション学院　理学療法学科　教員　荒川　幸子

内　容　呼吸の役割について，呼吸と循環の関係，運動と呼吸数・脈拍数・血圧との関係，呼吸筋について，呼吸筋ストレッチ体操の効果について，腹式呼吸の紹介

日　時　平成23年10月15日（土）10：45～11：45

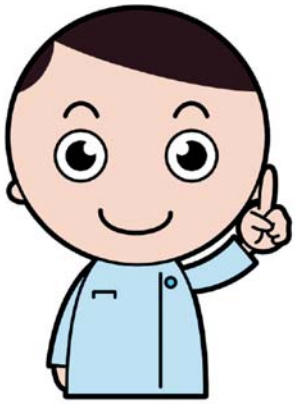
会　場　東名古屋病院附属リハビリテーション学院　205教室

参加費　無料

申込み　不要

＊一般の方々のご参加をお待ちしています。
なお、当日は学院祭、学院説明会を同時開催しており、公開講座は学院説明会の後に行います。

独立行政法人　国立病院機構
東名古屋病院附属リハビリテーション学院
〒465-8620　名古屋市名東区梅森坂５－101
TEL 052－801－1157
FAX 052－801－1160
ホームページ　http://hosp.go.jp/~tomei/gakuin/index.html



外　来　案　内

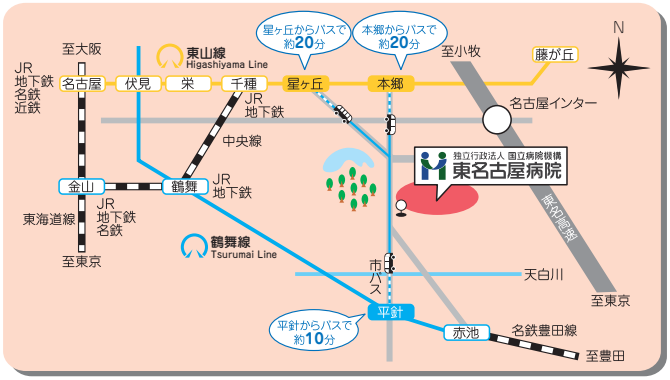
■診療受付時間　午前８時30分～午前11時まで（緊急の場合はこの限りではありません）
■診療開始時間　午前９時～
■休　診　日　土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～１月３日）
■初診時の特別料金　他の医療機関等からの紹介ではなく、直接当院に来院された患者さまは、初診にかかる費用として、2,100円（税込）をいただいております。ご了承下さい。
ただし、緊急その他やむを得ない事情により他の医療機関からの紹介によらず来院された場合にあってはこの限りではありません。

外来診察担当医表

（平成23年7月1日現在）

診療科	診療室	月	火	水	木	金
呼吸器内科	⓪初診	辻　清太	長谷川万里子	林　悠太	中川　拓	垂水　修
	①	垂水　修	清水　信	田野　正夫	辻　清太	林　悠太
	②	中川　拓	山田　憲隆	中川　拓（第1・3） 小川　賢二（第2・4・5）	小川　賢二	長谷川万里子
循環器内科	③	竹内　榮二	野田　浩範	竹内　榮二	野田　浩範	竹内　榮二
神経内科	⑪			犬飼　晃		
	⑫	饗場　郁子	片山　泰司		田村　拓也	榊原　聡子
	⑬	横川　ゆき	榊原　聡子	後藤　敦子	齋藤由扶子	見城　昌邦
	⑭初診	犬飼　晃	齋藤由扶子	横川　ゆき（第1・3・5） 見城　昌邦（第2・4）	饗場　郁子	後藤　敦子（第1・3・5） 田村　拓也（第2・4）
消化器内科	⑰	平嶋　昇	高橋　宏尚	平嶋　昇（肝臓外来）	小林　慶子	高橋宏尚（交代制）
呼吸器外科	⑥		山田　勝雄 8:30～10:30	山田　勝雄		
外科・消化器外科	⑥				加藤　俊之（肛門外来）	
	⑦	渡邊　正範（肛門外来）	加藤　俊之	渡邊　正範		渡邊　正範（乳腺外来）
整形外科	⑧	金子真理子	佐々木康夫	衛藤　義人	金子真理子	佐々木康夫
リウマチ	⑧		佐々木康夫	衛藤　義人		佐々木康夫
脳神経外科	⑮					竹内　裕喜
泌尿器科	⑮				安藤　正	
精神科	⑱			川﨑　有理 野村　紀夫		
総合内科	③		内海　眞 10:30～			
	⑯	間宮　均人		間宮　均人	内海　眞	間宮　均人
血液・腫瘍内科	⑱	神谷　悦功	朴　智栄		神谷　悦功	予約制
内分泌代謝科	⑤				大竹　裕子	
小児科	⑲	濱口　典子	濱口　典子	濱口　典子	濱口　典子	濱口　典子
皮膚科	⑤	加藤　愛	加藤　愛	加藤　愛		加藤　愛
					田中　伸（第2 12:45～14:45）	
歯科		奥村　秀則	奥村　秀則	奥村　秀則	奥村　秀則	奥村　秀則
リハビリ外来		田村　拓也	横川　ゆき	佐々木康夫	長谷川万里子	竹内　裕喜
ドック		外来人間ドック 脳ドック（予約制）				

※予約制は再来診の場合のみです。初診の場合は通常どおりの診療となります。
※救急診療は、時間外・休日も行っていますので、時間外窓口にご連絡下さい。(052-801-1151)
※当院では、毎週月曜日に外来人間ドック（予約制）を行っていますのでご利用下さい。
※セカンドオピニオン外来（予約制）を行っていますのでご利用下さい。
※小児科は完全予約制です。



●地下鉄東山線星ヶ丘駅下車
・市バス③番のりば
東名古屋病院行き
梅森荘行き
} 約15～20分　東名古屋病院にて下車
・星ヶ丘よりタクシーにて約15分
●名鉄豊田新線・地下鉄鶴舞線赤池下車
・タクシーにて約８分
●地下鉄鶴舞線平針下車
・市バス①番のりば本郷行き約10分　東名古屋病院にて下車
・タクシーにて約８分
●地下鉄東山線本郷駅下車
・市バス①番のりば地下鉄平針駅行き15～20分
東名古屋病院にて下車
●東名高速道路名古屋インターより車で約20分